エコアクション２１

環境活動レポート

（活動期間2023年4月～2024年3月）

静岡リプロ株式会社

2024年5月15日作成

環境理念

静岡リプロ株式会社は、地球環境保全と事業運営の両立を目指し、環境負荷の低減に努めます。

環境方針

①廃プラスチックの再生販売を積極的に進め、再資源化率向上の為、廃棄物処理の作業効率を高める。

②事業活動において、産業廃棄物の収集・運搬を業としているところから、車両の燃料消費量が高い。地球温暖化原因の一つである二酸化炭素の排出量の削減に努め、地球温暖化防止の責務を果たす。

③水使用量の削減と、廃棄物排出量の削減に取組む。

④環境関連法規及び条例等を遵守する。

⑤社員の環境教育に取組む。

⑥環境経営の継続的改善を誓約します。

制定　2006年9月16日
改定　2023年9月15日
静岡リプロ株式会社
代表取締役　立石　順二

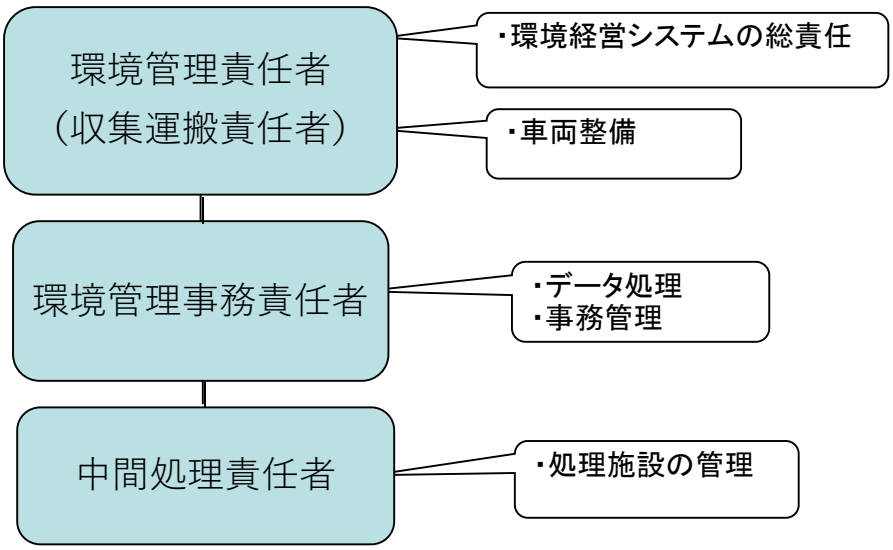
会社概要

事業所名	静岡リプロ株式会社
代表者氏名	代表取締役　立石　順二
設立	1960年5月18日
資本金	1000万円
事業内容	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処分業 プラスチックの再生販売
本社工場	〒424-0037 静岡市清水区袖師町590番地の1 TEL:054-365-3377 FAX:054-364-1970 E-mail:repro@vc.tnc.ne.jp https://reprokabu.sakura.ne.jp

事業規模

活動規模	2023年度
廃棄物収集運搬量	993.68t
廃棄物処理量	269.21t
従業員数	3人
床面積	541.56㎡
売上高	3467万円

組織図及び実施体制



許可・施設等の概要

＊静岡県産業廃棄物収集運搬業許可
許可番号: 2201027489 許可年月日: 令和2年9月29日 許可有効年月日: 令和9年9月28日 事業区分: 収集・運搬 廃棄物の種類: 廃プラスチック類、金属屑、 ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑、木屑 （石綿含有廃棄物を除く）

＊静岡市産業廃棄物処分業許可
許可番号: 06222027489 許可年月日: 令和2年10月8日 許可有効年月日: 令和9年10月7日 事業区分: 中間処分－破砕、溶融固化、圧縮 産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類

＊運搬車両（収集運搬車両）	
バンウイングボディ	最大積載量7000kg 1台
バンウイングボディ	最大積載量6700kg 1台

＊廃プラスチック　処理施設	
破砕施設	3．36t（日/8時間）
溶融固化施設	0．64t（日/8時間）
破砕施設	3．42t（日/8時間）
圧縮施設	1．85t（日/8時間）

事業計画の概要

＊事業全体の計画
静岡県内から発生する産業廃棄物を各排出事業者 との委託契約に基づき収集運搬・処分をします。
＊運搬計画
過去の実績に基づき、主に廃プラスチック類と木屑の 運搬を年間1000t見込んでおります。
＊処分計画
過去の実績に基づき、廃プラスチック類の処分を年間 350t見込んでおります。
＊収集運搬、処理料金
種類、量、距離等により無料にて御見積り致します。

処理工程図

原材料（産業廃棄物又は有価物）廃プラスチック類

当社による収集運搬、もしくは
排出事業者様によるお持ち込み

⇩

自社工場にて種類毎に選別・異物除去

⇩

破砕　／　溶融固化　／　圧縮

⇩

売却、又は外部へ処分委託

受託・委託量

収集運搬量	993.681 t
自社中間処理量 （破砕・溶融固化・圧縮）	269.214 t
自社再資源化量 （プラスチック原料として売却）	230.939 t
自社中間処分後に委託処理量 (破砕・燃料化しRPF原料等となる)	61.17 t

有価物として購入/製品化プラスチック量	74.58 t

環境への負荷の状況

環境負荷項目（単位）		2021年度	2022年度	2023年度
①総エネルギー投入量	購入電力（kwh)	14177	13850	13083
	ガソリン（L)	2259	1832	2583
	軽油（L)	5993	5842	4765
②総物質投入量	資源投入量(t)	91	111.53	74.58
	循環資源投入量(ｔ)	0	0	0
③水資源投入量	上水(㎥)	39	37	36
④温室効果ガス排出量	二酸化炭素(kg-CO2)	30555.84	28948.35	25939.82
⑤受託産廃処理量	収集運搬量(t)	1031.23	1193.27	993.681
	中間処理量(t)	306.081	302.104	269.214
	うち再資源化等量(t)	217.613	269.176	230.939
	中間処理後の処分量(t)	129.1	77.82	61.17
	うち再資源化等量(t)	129.1	77.82	61.17
⑥廃棄物等総排出量	再使用(t)	0	0	0
	再生利用(t)	176.981	224.284	208.044
⑦総排水量	下水道(㎥)	39	37	36

＊化学物質の取扱いはありません。

環 境 目 標

項　目		単位	基準年	短期目標	中 期 目 標		
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
			実績	2022年比-	2022年比－1%	2022年比-1.5%	2022年比－
				目標数値	目標数値	目標数値	目標数値
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	28,948	28,803	28,659	28,514	28,369
収集1t当たりの二酸化炭素排出量		Kg-CO2/収集t	24.3	24.2	24.1	23.9	23.8
二酸化炭素の内訳	購入電力	kwh	13,850	13,781	13,712	13,642	13,573
	購入電力(処分1t当たり)	kwh/処分t	45.8	45.6	45.3	45.1	44.9
	ガソリン使用量	ℓ	1,832	1,823	1,814	1,805	1,795
	軽油使用量	ℓ	5,842	5,813	5,784	5,754	5,725
	軽油使用量(収集1t当たり)	ℓ/収集t	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8
中間処分を受託した廃棄物のリサイクル率		%	74.2	74.6	75.0	75.3	75.7

＜備考＞
1.設備変更等が完了したので、基準年度を２０２２年度に変更した。
2.中間処分を受託した産業廃棄物のリサイクル率は0.5%ずつ上昇するように努める。
3.水使用量については、現状維持とする。
4.グリーン購入に努めます。

環境目標に対する実績　2023年度(2023年4月～2024年3月)

項　　目		単位	2023年度 目標数値 2022年度比-	2023年度 実績値	結果
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	28,803	25,940	○
収集1t当たりの二酸化炭素排出量		Kg-CO2 /収集1t	24.2	26.1	×
二酸化炭素の内訳	購入電力	ｋｗｈ	13,781	13,083	○
	購入電力(処分1t当たり)	ｋｗｈ /処分t	45.6	48.6	×
	ガソリン使用量	ℓ	1,823	2,583	×
	軽油使用量	ℓ	5,813	4,765	○
	軽油使用量(収集1t当たり)	ℓ/収集1t	4.9	4.8	○
中間処分を受託した廃棄物の自社内におけるリサイクル率		%	74.6	77.3	○
水使用量		㎥	37	36	○
グリーン購入		購入に努める			○

化学物質の削減	調査・検討。　→　対象外であった。
プラスチックの品質向上	異物混入を無くす。→　徹底していた。
差別化によるシェアの拡大	優良産廃処理業者認定取得済。
地域環境保全管理	境界ブロックの修繕。危険な木の伐採。
安全対策	屋根及び鍵の修繕。安全衛生方針提示。 一般応急手当講習の受講。

～取組に対する評価、並びに問題の是正及び予防～

電力	効率良く機械運転をし、目標を達成する事が出来たと考える。
ガソリン	達成率が低かったのは、出張の増加等によるものであると考える。
軽油	トラックの運行について、経路等計画的に走行する事が出来て良かった。
再生率	選別確認を適時し異物混入を防ぎ、製品の品質向上が出来た。 設備環境を整えた事で、より多くの再資源化に繋がったと考える。

＜備考＞

購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和5年12月22日環境省・経済産業省公表、令和4年度実績の電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）に掲載された㈱U-POWERの基礎排出係数である０．５８５（ｋｇ-CO_2／ｋＷｈ）を使用した。

環境活動計画と取組の評価・次年度の取組内容

環境目標	活動項目	結果／評価	次年度の取組内容
①温暖化ガスの削減			
購入電力の削減	エアコン設定温度の見直し	○／適時実施出来た	継続して取り組む
	エアコンの掃除	○／年２回実施	継続して取り組む
	消灯管理の徹底	○／徹底されている	継続して取り組む
	機械類の効率運転	○／徹底されている	継続して取り組む
車両燃料の消費量削減	アイドリングストップの実施	○／徹底されている	継続して取り組む
	急発進・急加速の禁止	○／徹底されている	継続して取り組む
	積載物の確認	○／徹底されている	継続して取り組む
	経済経路の走行	○／徹底されている	継続して取り組む
②廃棄物の適正な処理			
事業所排出物の発生抑制	コピー用紙の両面使用	○／徹底されている	継続して取り組む
	封筒の再利用	○／徹底されている	継続して取り組む
	FAXのＰＤＦ化	○／継続中	継続して取り組む
	分別とリサイクル化	○／徹底されている	継続して取り組む
産業廃棄物の収集・処分における環境配慮	排出事業者への分別指導	○／徹底されている	継続して取り組む
	電子マニフェストの導入	○／導入済である	継続して取り組む
	処理施設の作業環境向上	○／徹底されている	継続して取り組む
	受託廃棄物の再生率向上	○／徹底されている	継続して取り組む
③排水量の削減			
水使用量の削減	水漏れ点検の実施	○／日常管理として実施	継続して取り組む
	節水の周知徹底	○／徹底されている	継続して取り組む
④グリーン購入の推進			
事務用品のグリーン占有率向上	環境配慮製品を優先する	○／徹底されている	継続して取り組む
	計画的購入	○／徹底されている	継続して取り組む
⑤環境に配慮した商品・サービスの提供			
プラスチックの品質向上	再生品の異物混入検査	○／実施されている	継続して取り組む
	分別の徹底	○／実施されている	継続して取り組む

＊化学物質は不使用である。

環境関連法規

法律･条例･規則	適用内容	確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬業許可の更新・変更届出	○
	産業廃棄物処分業許可の更新・変更届出	○
	産業廃棄物処理施設の維持管理	○
	委託契約の締結	○
	マニフェストの運用･管理･保管	○
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の適正な処理の確保	○
	産業廃棄物の処理状況の報告等	○
	産業廃棄物の排出事業者による実地確認	○
	産業廃棄物処理施設等の設置等に係る事前手続等	○
道路交通法	運転者及び使用者の遵守事項	○
水質汚濁防止法	公共用水域の水質保全を図る	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
振動規制法	規制基準の遵守	○
悪臭防止法	規制基準の遵守	○
化学物質管理法	環境への排出量の把握	○
消防法	消防用設備等の点検・報告	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	○
フロン排出抑制法	エアコンの点検	○
労働安全衛生法	労働者の安全と健康の確保	○

◎環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果違反はありませんでした。

◎違反、訴訟等の有無

関係機関や利害関係者からの苦情、訴訟についてありませんでした。

（2024年5月10日確認）

代表者による全体の評価と見直し

見　直　し　項　目		変 更 の 必 要 性	
1	環境方針	有	無
2	環境目標	有	無
3	環境活動計画	有	無
4	環境経営システム	有	無
5	実施体制	有	無

取組結果について、業務内容から鑑みると達成率は大変高く、良い結果であった。

今期、処理設備や作業環境の整備を徹底し、安全衛生活動をしっかりと実行することが出来た一年であった。
今後も、日々の確認作業を徹底していく事とする。

来期は、新規事業についても法令遵守・環境負荷の低減に努め事業運営をするべく、情報収集等しっかりとやっていくことが重要であると考える。

令和6年5月10日
静岡リプロ株式会社
代表取締役　立石 順二

環境上の緊急事態への準備及び対応

～環境に於ける緊急事態について、大切なこと～

- 環境への影響を最小限にとどめる。
- 環境上の緊急事態への対応策を定める。
- 定期的に（年1回以上）訓練を行う。
- 緊急事態の発生後や、訓練の実施後に、対応策の有効性を確認する。
- 必要があれば、より効果的な対応策への改訂を行う。

～想定される緊急事態に向けて、準備及び対応策～

火災	車両	予防として、火災や爆発の原因となる廃棄物が混入しないように、排出事業者への啓発を図る。 運搬中に火災が発生した場合は、ハザードランプを点滅させてから路肩に止めて、消防へ連絡をする。
	建物	予防として、引火性の高い廃棄物を発見した場合は直ちに取り除く。 消火器を配置し、定期点検を行う。
地震	車両内	運搬中に地震が発生した場合は、ハザードランプを点滅させて徐々に減速をし道路の左側に停車する。 エンジンを切り、防災アプリ等で情報を収集する。 (トンネル・橋・狭い道・斜面のそば・ブロック塀等に注意)
	建物内	工場内の場合、すぐに機械から離れる。 揺れがおさまったら機械を止め、工場の外に避難する。 事務所内の場合は、窓ガラスに注意をしデスクの下で身を守る。揺れがおさまったら外へ避難する。 津波の危険があれば、指定の避難場所へ移る。

従業員教育の内容　　（緊急事態への対応）

実施日	2023年9月1日

＊産業廃棄物処理業について

・収集運搬業許可の内容
・処分業許可の内容
・優良産廃処理業者の内容
・マニフェスト及び関連法規について

＊環境活動の取組みについて

・環境負荷低減
・再資源化率向上
・危機管理能力向上

＊火災発生時に備えて

・消火器の配置図を確認
・消火器の使い方を確認
・参考動画を視聴後、火災訓練を実施

＊評価及び検証結果

　工場内が整理整頓されており、安全な避難経路を確保出来ていた。環境負荷に対する意識や防災意識も高く持ち、日々の業務を行うことが出来ている。
　今後は、機械や作業環境の整備時間をきちんと設ける事で、より安全に事業活動を行っていく事とする。

環境コミュニケーション 問い合わせ・苦情・受付表	＊問合せ・苦情等はありませんでした

1.　問い合わせ・苦情をされた方の情報

ふりがな	
氏名 （事業所名）	
住所	
連絡先	

2.　内容

1.　問い合わせ　　2.　苦情　（どちらかに〇）	
内容	
原因	

3．　事務処理

受付担当者	
受付年月日	
対応担当者	
対応内容	
対応完了年月日	